



炬火を掲げていざ謳う

No.37



我々の泉鳥取

2023年4月10日（月）

編集 泉鳥取高等学校閉校記念事業実行委員会

大阪府大阪市緑ヶ丘1-1-10

<https://www.osaka-c.ed.jp/custom91.html>

新入生のいない はじめての春

— 入学式なき新学年 令和5年度 —

令和5年度がスタートしました。今年度は募集停止となり、初めて入学式のない新年度を迎えています。教職員も多く転勤、定員も教頭1名、教科教員12名が減少、生徒総数も昨年度444名スタートだったのが、今年度は2年生と3年生、全校生徒224人となりました。ですが、今年からは始める取組みも多数計画されています。

・「人」は「人」との対面で育つ

長年学校の教育活動に大きな制約をもたらしていた、新型コロナウイルス感染症が来る5月8日に感染症2類相当から5類に格下げされ、本来の教育活動を取り戻せることになりました。

4月からは、授業中のマスク着用に対する協力要請が解除されます。小グループでの話し合いやワークショップなどが実施できるようになり、教育のバラエティが増加します。

今年度の教育活動で特筆できることは以下の3点です。

・金融教育モデル校

金融広報委員会が主催する「金融教育モデル校」事業が今年度取りまとめの時期に入ります。今年度は2年生を中心に、「総合的な探究の時間」や家庭科の授業を中心に、「お金と自分のかかわり」を探究、秋には金融に関わる大阪市内の見学会を予定しています。

・ウタリ協会との連携 アイヌ文化を学ぶ

2年生の修学旅行でアイヌ文化博物館を見学し、アイヌ文化を学ぶこともあり、当事者をお招きしてご講演いただく計画を進めています。「旧土人保護法」によりいわれなき差別を受けていた人々の怒りと、大切にしてきた文化を学び、多様な文化の共生について学びます。

・2年は5月 3年は11月の校外学習

修学旅行を実施する2年生は、それまでのクラスづくりに資するため、久々に校外学習を5月に実施します。また、思い出作りを行う3年生については、校外学習を11月に実施します。

今年度も「我々の泉鳥取」精力的に発行いたします。よろしくお願いいたします。



強風にあおられて花散らしました(4月7日)